風花 かざばな

発行所
苫小牧市若草町3丁目3−8
苫小牧市民活動センター内
一般社団法人 苫小牧風花の会事務局
TEL 36-7800 FAX 82-8002
E-mail:kazabana-toma@room.ocn.ne.jp

あけまして おめでとうございます

理事長　甲谷　由美子

新しい年を迎え皆様におかれましては、今年一年が穏やかな年でありますようにと祈念致します。

昨年は苫小牧で、初めて日本女性会議が開催されました。当会も数十名が参加し感慨深い貴重な体験をする事ができました。

少子高齢化により、全国組織の私共の会も会員減少で休会や解散が相次いでいます。そんな中、当会は僅かですが会員が増えております。これは、一つには、二十五年より改名した事で、父子家庭の入会に結びついた事。もう一つは、委託事業の学習塾の生徒が同じ境遇の友達に声を掛ける事で入会に結びついております。子ども達は、置かれた環境の中で会の趣旨を日常の中で順応している姿には頼もしささえ感じます。子ども達が示してくれるように、地域・仲間との関わりが欠かせません。

当会は、情報発信として広報誌「風花」を公共機関、各コミセン、保育園等に置かせて頂き地域より繋がりを求められる会になれるよう努力致します。

今後共、行政及び関係機関との連携を密にして、時代に即した会の運営を行い、「我が幸は我が手で」を念頭に、皆様と共に歩み続けたいと思っておりますのでご協力とご指導を宜しくお願い致します。

お知らせ

29年度 新たに支援ができました!!

夢を応援基金 LAWSON

ひとり親家庭支援奨学金制度

奨学金 **月額 30,000円給付**
（返還不要、他の奨学金との併用可）

今年度 苫小牧風花の会より1名決定しました!!

大変遅くなり申し訳ありません。
この度は、奨学金を支援して頂きましてありがとうございました。
看護学校に進むための資金として大切に使わせて頂きます。
これからも、看護師になれる様、部活に勉強そしてアルバイト、日々努力していきたいと思います。
本当にありがとうございました。

奨学金 ありがとう ございます

この度は、奨学金をご支援していただきありがとうございます。
訳あって通信高校に通っており、いただいた奨学金は学費にまわさせていただきたいと思っております。
私は将来、動物看護師の資格をとるため専門学校に進学したいと考えております。
母には学費等でとても負担をかけているので今回のご支援本当にありがとうございます。高校を卒業してからその先専門学校に進学できるよう勉学に励み資格取得を目指せるよう時間はかかりますが努力していこうと思います。
ご支援ありがとうございました。

いつもお世話になっております。
今回は、貴重な奨学金をいただき誠にありがとうございます。また、僕が中学3年生の時には、塾へと誘っていただき勉学のサポートもしてもらい公立へ入学できたことも遅れてしまいましたがこの場をかりてお礼申し上げます。
今回頂いた奨学金は就職活動の工場見学や、免許・資格の取得に活用させていただきます。
本当にありがとうございました。

この度は奨学金を頂き、ありがとうございます。
頂いた奨学金は模擬試験の受験料に使わせていただきます。
本当にありがとうございました。

この度は奨学金をありがとうございました。
家族と離れ、遠い奈良県の学校に通い、寮・勤務・学校と忙しい毎日ですが楽しく過ごしています。
いただいたお金は帰省に遣わせていただきました。
ありがとうございました。

この度は奨学金支援して頂き、まことにありがとうございます。
この奨学金は、私の学生生活のうえでも大きな支えとなります。また、このありがたみを胸にきざみながら、毎日の勉強に励みたいと存じます。
母への負担は想像以上に大きいですが、将来の目標へ向けて頑張っていきたいと思います。
本当にありがとうございました。

奨学金を受けた47名の方々から礼状を頂いています。今回はその一部を掲載します。

■**ご芳志を頂きありがとうございました**
・株式会社 伊藤園 様
・株式会社 土倉 様
・大塚ウェルネスベンディング株式会社 様
・谷保製菓株式会社 様
・株式会社 フジタコーポレーション 様
・北海道コカ・コーラボトリング株式会社 様
・株式会社 サンユー食材 様

■**高齢者福祉センター祭**
・9月6日(水)~7日(木) 参加

■**行事予定**
・1月20日(土) 新年親睦会(ホワイトバーササンシャイン)
・2月18日(日) 胆振単位会会長・事務局 自立支援員会議(伊達)
・3月4日(日) ひとり親家庭入学お祝い会 (市民活動センター)
・4月8日(日) 胆振管内母子寡婦福祉連絡協議会 総会(伊達)
・4月29日(日) 全道単位会会長会議(札幌)
・6月3日(日) 一般社団法人 苫小牧風花の会総会 (市民活動センター)

■**新入会員のお知らせ（7月~12月**
23名の仲間が増えました。
※いつでも加入出来ます。ご連絡下さい。
事務局（36・7800）迄

■**編集後記**
寒さが身にしみる季節になりました。インフルエンザにならないようにうがい、手洗いの習慣でこの冬を乗り切っていきましょう。お忙しい中、原稿依頼に御協力いただきました皆様ありがとうございました。

ベーグル専門店
ASOSHIE アソシエ BAGEL ベーグル
苦小牧で唯一のベーグル専門店。
豊富な品揃えで皆様のご来店を心よりお待ちしております。
北海道産小麦100%使用
店舗情報
〒053-0811
北海道苫小牧市光洋町1-10-1
TEL/FAX 0144-75-4778
【営業日】火~土 10:00~17:00
【定休日】日・月・祝日
ホームページQRコード

お弁当の こすもす
こすもすレシピ公開中 YouTube
苫小牧市桜木町3丁目−15−15
TEL 72-6465 FAX 61-1881

◆企業広告随時募集中!! 詳細は事務局まで

風花の会によせて

日本女性会議を終えて

苫小牧市 市民生活部 男女平等参画課 課長　宮　嶋　紀　子

風花の会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

日頃より、本市の男女平等参画の推進に御協力、御尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。また、貴会の理事長始め役員、会員の皆様方の日々の御苦労に対しまして心より敬意を表するところでございます。

さて、男女平等参画社会は、一人ひとりが互いの人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわりなく、能力を十分に活かすことのできる社会です。しかし、「男は仕事、女は家庭」といった根強い固定的な役割分担意識の中で、特に一人親家庭となった場合の女性は、非正規労働が多いことから経済的に苦労し、男性は、子育てや家事労働に苦労するなど、より生き辛さを抱えることが多い実情があるのではないでしょうか。また、少子高齢化が進み、人口減少時代に突入する中で、働き手や社会活動に参加する担い手不足を解消するためには、様々な課題があり、それらの解決策となる男女平等参画社会の実現は、国においても21世紀の最重要課題と位置づけております。そのような時代背景の中で、男女平等参画について考える「日本女性会議 2017 とまこまい」が昨年10月に開催され、全国から約２千名の方の参加と実行委員を始めとした市民や企業から多くの方にボランティアとして参画をいただき、成功裏に終了することが出来ました。本大会は、DV、災害、人権、ワークライフバランス、貧困、高齢者の生きがい、平和、ダイバーシティ、教育、健康、平等社会をつくるための地域づくりなどの地域課題に向き合った分科会や記念講演、なかなか進まない男女平等参画を推進するための方策などを発信したシンポジウムなどの全体会が繰り広げられました。どの内容にも本市の課題や実情を織り込み、最後の大会宣言においては、市民・団体、企業、行政が連携・協働して取り組むことを表明し、本市の男女平等参画社会を目指す上での契機となる大会であったと感じております。これもひとえに、貴会から多くの御協力や御参加をいただいた賜物だと感謝申し上げます。そして、今後も、男女平等参画社会の実現のために、連携・協働し、一人ひとりがいきいきと暮らせる社会を共に目指して行きたいと考えております。

最後になりますが、このような貴重な紙面に寄稿させていただく機会を頂いたことに感謝申し上げるとともに、会員皆様方の御健康と御活躍を心より御祈念申し上げます。

全国母子寡婦福祉研修大会に参加して

事務局長　坂　本　嘉代子

十一月四日~五日、愛知県名古屋市に於いて約一、二〇〇名の参加にて開催、開会式では愛知県知事・名古屋市長といった著名人の皆様が、まるで漫談or講演会と錯覚するほど会場を魅了し、「さすが名古屋人」という挨拶で始まりました。

行政からは「ひとり親家庭への支援」特に、貧困による格差をなくすべく学習支援対策について、名古屋市では、一四三カ所の事業所等に四億円の資金を費やしている報告に驚き感動致しました。

研修討議では六名の方々が発表され、その内の一人は長い歴史の中で初めて？父子の方の発表でした。「男として何か役に立つのでは」「僕だからできる事　僕にしかできない事」の思いを述べられました。それに対し助言者より、まだまだ受入れよりも防衛体制のほうが強い母子家庭には、安心という雰囲気を作り、警戒心を無くしていくことが課題というアドバイスがありました。

講演は、西川流四世家元　西川千雅氏　日本舞踊は、指先まで意識し細やかな表現の振りをする事により綺麗でありたいと、脳を刺激する。背中を伸ばし中腰の状態で殆どを踊るので、太ももやふくらはぎの筋肉にじっくり負荷がかかり、優しくでもしっかりと鍛えられるのです。「足腰を鍛える」事は、若さを保つのに大切な事。会場が一つとなり、癒しの音楽に合わせ、先生の踊りを見よう見まねし、自分の身体と対話するように動きました。雑念を忘れ、ただ無心に踊った素敵なひとときでした。「日本・地域を元気にする～それは一人ひとりの健康から…」まだまだ大きな課題もありますが、素晴らしい教訓も教えて頂いた大会でした。

ひとり親家庭 日帰り旅行

木下サーカス鑑賞

平成29年8月11日(金)
参加人数 42名

はじめてのサーカス

荒谷紗雪

わたしははじめてサーカスを見に行きました。ぞうやホワイトライオンは、すごく大きくてびっくりしました。空中ブランコも、目かくしをしてやるのが、すごいと思いました。ピエロのおじさんとおばさんもおもしろかったです。またサーカスを見たいと思いました。

いしいりん

サーカスたのしかった。バイクたのしかった。マジックすごかった。ライオンおおきかった。しまうましましまでかわいかった。ライオンのぬいぐるみかった。おともだちができた。

中小企業家同友会友知会クリスマス会

平成29年12月17日(日)

☆総勢85名参加しました。ありがとうございました!!

親子フェリー旅行

協力：川崎近海汽船㈱

[10/27] 苫小牧港出航▸
[10/28] 八戸港到着▸陸奥湊駅前朝市で朝食
無島▸種差海岸▸上ノ山観光農園にてリンゴ狩り体験▸山の楽校にてそば打ち体験▸八食センター▸三沢航空科学館▸イオンモール下田▸八戸港出航▸
[10/29] 苫小牧港到着

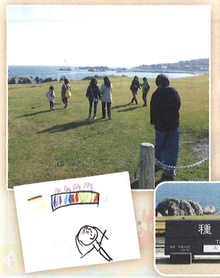
僕が楽しかったのは、そば打ち体験と三沢航空科学館の無重力体験です。無重力体験最高でした。　Y・K

私が楽しかったことは、リンゴがりです。色々な種類のリンゴがあって、みつがたくさん入っていておいしかったです。　YU

フェリー参加の子ども達の絵

今回の旅行で、娘と一緒にそばを打ち食べた事が、一番楽しく思い出に残りました。　お父さんより

今回、娘と参加させて頂き、とても楽しく過ごすことができました。特に三沢航空科学館では色々な体験をすることができ、楽しいだけでなく大変勉強にもなる施設でした。父子家庭では、このような旅行には中々参加しづらいとは思いますが、機会があればぜひ参加することをおすすめします。　パパより



初めてのフェリー旅行でたくさんの楽しい体験で、とても良い思い出になりました。ありがとうございました。　Tより

リンゴ狩りと、三沢航空科学館で乗った無重力体験は、親子でとても楽しめました。　Y・Tのママより

寡婦研修交流会 全道四ブロック研修会

原田美樹

平成二十九年八月二十六日、北斗市にて四ブロック研修会が開催されました。

研修では「介護保険の改正にともなう知内町の支えあい活動」をテーマに、社会福祉協議会　事務局長　大野樹氏のお話がありました。大切なのは、地域の行政が高齢者と密になり接点を持ち、見守っていくという事。元気な高齢者に、やりがいを与える事。知内では、地域の取り組みで高齢者や障がい者の人達が一緒に食事をしたり、踊りや体操・話等が出来る〝まちカフェ〟の設営をする等さまざまな取り組みをしているそうです。

問題点は、自主参加が基本で、送迎にすれば利用者は増えるが送迎の間の事故等の保障が出来ないという事だそうです。孤立してしまう高齢者が増えている中で、知内では本当に地域で協力し合い頑張っていると思いました。

講演では、音楽療法士　小川いづみ氏の指導により、たくさんの歌を唄いました。音楽により、薬では効かない脳や体の神経に刺激を与える事が出来るそうです。

懇親会では、他の地区の方々と楽しく話をしたり笑ったりする事が出来、終りの時には「また元気に会おうね！頑張ろうね！」と握手してくれました。とても嬉しかったです。

私は今回研修に参加して、あたりまえだけど、元気でいる事。笑う事。仕事・趣味など、どんな小さな事でも、他人と関わる事は大切なんだと感じました。

長畑美晴

八月二十六日から二十八日まで寡婦研修交流会四ブロック大会に十七名で参加してきました。

お昼ご飯を食べた後の研修では眠たくなってしまう一面もありましたが、ためになるお話、ピアノを使って大きな声で歌うなど楽しく学ぶことが出来ました。その後は交流会に参加し色々な方とお話しすることが出来ました。

二日目は奥尻観光に行きました。行きのフェリーは立っているのもやっとなくらい揺れていました。

奥尻に着くと、うに丸くんが出迎えてくれました。地震の後の恐怖や怖さを感じられる場所もたくさんありましたが、美味しい食べ物でみんなの顔は笑顔になっていました。

三日間あっという間に過ぎ、体調を崩す人もなく、みなさん無事に苫小牧に戻ってくることが出来ました。

第61回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会に参加して

泉田政子

九月三十日(土)シャトレーゼガトーキングダムサッポロで開催された研修会に参加してきました。

メインテーマは「支え合い、共に目指そう明るい未来」

研修討議のテーマは

①目指そう！自立、活かそう支援策
②母子と寡婦　明日へつなぐ世代の輪
③育てよう「自立」なくそう「孤立」

発表者の苦労や努力に昔の自分が重なったり、より多くの人に活動を知ってもらうため、メディアを活用したり、思いもよらない新発想など、いろいろと聞いてみることは、大事なことだと改めて感じました。